



Dominion® SX II

パッケージの内容

SX II は、標準 1U 19 インチ ラックマウント シャーシに搭載される、完全に構成されたスタンドアロン製品として出荷されます。

SX II パッケージには次のものが含まれています -

- 1 - SX II 装置
- 1 - ラックマウント キット
- 2 - AC 電源コード
- 1 - ゴム足 1 組 (4 個、デスクトップ設置用)
- 1 - 保証書

工場出荷時デフォルト

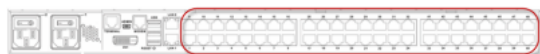
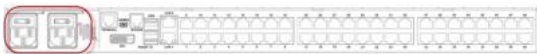
SX II 装置は工場から次のデフォルトで出荷されます:

- IP アドレス = 192.168.0.192
- ユーザ名 - admin (全て小文字)
- パスワード - raritan (全て小文字)

重要: バックアップとビジネスの連続性の目的で、管理者用ユーザ名とパスワードのバックアップを生成することを強く勧めます。この情報は安全な場所に確保してください。

SX II の接続の設定

1. SX II をラックに据え付けた後、パワーコードを SX II 上の電源コネクタと外部の AC あるいは DC の電源 (モデルによる) との間に接続します。
2. 第2の電源コネクタをバックアップ電源に接続することもできます。
SX II とともに来る電源コードを使用してください。
3. 外部モデム (オプション) を接続します。参照 外部モデムに接続しグローバルなアクセスを可能にします。in online help.
4. 目的のデバイスあるいはその他のシリアルで管理されているデバイスを SX II 上のサーバーポートに接続してください。



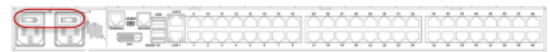
標準の Cat5 ケーブルを用い、目的のデバイスを SX II の背面で空いているポートに接続してください。

注: 目的デバイスで RJ45 ポートのピン定義をチェックしてください。それは SX II 上のピン定義と合致しているはずですが。

または

必要なら Raritan のゼロ化シリアルアダプターをターゲットデバイスのシリアル ポートに接続し、そして標準の Cat5 ケーブルをアダプターに差し込みます。ケーブルの他方の端を SX II の背面の空いているポートに接続します。

5. 電源スイッチで SX II の電源をオンにします。



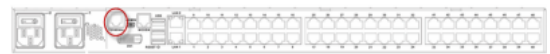
6. 次に、SX II をネットワークに接続し、初めてネットワーク設定を行います。

ネットワークに接続し SX II を設定する

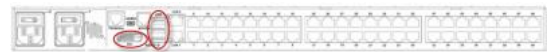
SX II を コマンドラインインタフェース (CLI) 経由であるいはウェブブラウザで設定できます。

▶ CLI を用いて SX II を設定するには:

1. SX II を CLI 経由で設定するには、次の中の一つを用いて接続します -
 - コンピューターをターミナル ポートに接続しシリアルのコンソールにアクセスします。



- キーボードトレイあるいは KVM コンソールを DVI-D と USB ポートに接続します。



- ラップトップはミニ USB 管理ポートに接続します。



2. SX II に接続するとエミュレータのインタフェースが開きます。キーボードのエンターキーを押してください。
3. ログイン 画面が現れると、デフォルトのユーザ名 "admin" とパスワード "raritan" を入力します。全て小文字を使用します。
4. デフォルトのパスワードを変更するように求められます。ここで、それを行い、このパスワードを今後のログインのために確実に覚えてください。CLI を経由してパスワードを創るときには、スペースで始めたりスペースで終わることはできません。これはリモートコンソールを用いてパスワードを創る時には適用されません。

デフォルトでは、ネットワークは静的 IP アドレスで設定されています。

- admin から 入力になると config と入力し さらに次の入力 で network を入力します。
- admin > config > network > で入力になると次を入力します - interface if lan1 ipauto none ip <ip address> mask <mask> gw <gateway ip address> DHCP を使用するには、次を入力します - interface if lan1 ipauto dhcp
- デバイスにそれを識別するための名称を与えます。

それには次を入力します "name devicename <DSX2 name>"。

名称には最大 32 文字までがサポートされています。スペースと特殊文字はサポートされていません。

- admin > config > network で入力になると次を入力すると - "quit" 上位のメニューに移り admin > config となるので、次を入力します - "time"。
- admin > config > time > で入力待ちとなり、SX II の日付および時刻を設定します。

- 次を入力します timezonelist そして、タイムゾーンに対応するコード番号を見つけます。
- 次を入力します clock tz <timezone code> date <date string> time <time string>

ここで <timezone code> はタイムゾーン コード <time string> は "HH:MM:SS" のフォーマットでの現在の時刻、そして <date string> は "YYYY-MM-DD" のフォーマットでの現在の日付(引用符をふくみ、24時間時刻を用いる)。

例: clock tz 9 date "2015-08-15" time "09:22:33"

- 次を入力 top し、トップレベルの入力待ちに戻る。
 - 次に、次を入力 config し、そして入力待ちで次を入力します - ports 。
- ここで、目的とするデバイスが接続されている各サーバーのポートを設定できます。
- 次を入力します - configport そして ? を打ち込みポートのパラメータを見ます。

たとえば:

```
config port 1 name cisco1700 bps 9600 parity odd flowcontrol none emulation vt100
```

ポートを範囲で指定したり、ワイルドカード アスタリスク * を次のように使うことができます config port * bps 115200 これはすべてのポートの通信速度を 115200 bps に設定します。

または

```
config port 3-7 bps 115200
```

これはポート3から7を 115200 bps に設定します。

または

```
config port 1,2,7-9 bps 115200
```

これはポート1と2、7から9を 115200 bps に設定します。

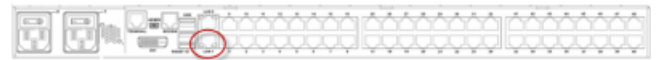
このステップをデバイスが接続されている各ポートについて繰り返します。

- それを終わると、次の top を入力し、トップレベルの入力待ちに戻ります。

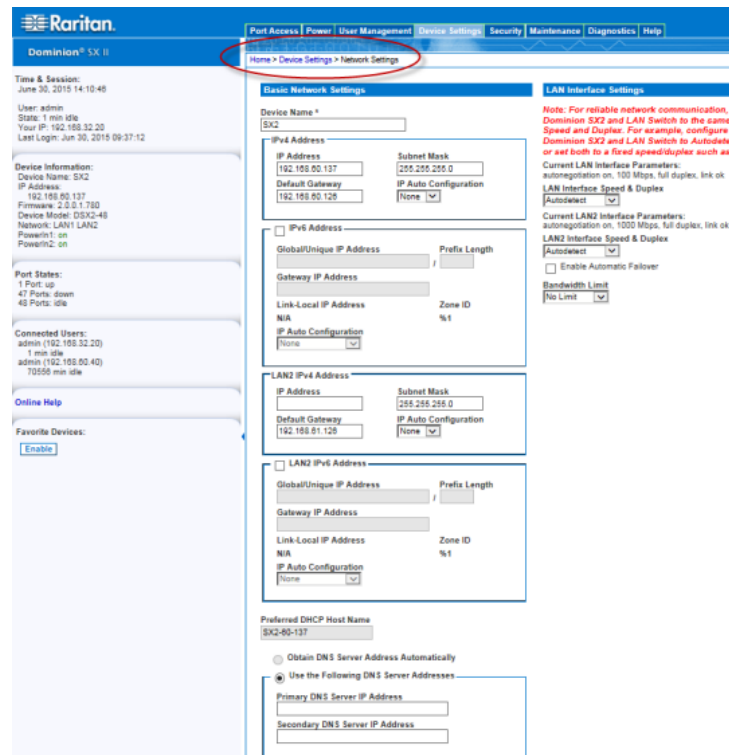
▶ ウェブブラウザを用いて SX II を設定するには :

SX II を始めて設定する際に、もしラップトップの LAN ポートから SX II の LAN1 ポートにクロスオーバーケーブルを用いて接続する場合には、次のようにしてください -

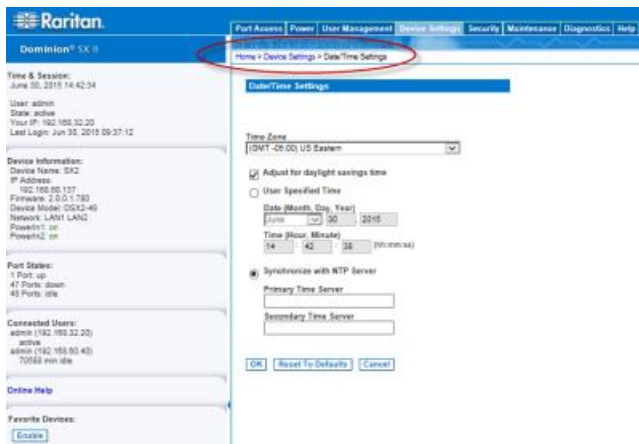
- クロスオーバーケーブルを用いてラップトップを LAN ポートから SX II の LAN1 ポートに接続します。



- ラップトップの LAN ポートの静的 IP を 192.168.0.191 に設定し、ネットワークマスクを次に設定します 255.255.255.0。
- ブラウザを開け、そして次の URL: http://192.168.0.192 を入力します。
- ログインウィンドウが現れると、次のデフォルトのユーザ名を記入します admin とパスワード raritan。全て小文字を使用します。
- デフォルトのパスワードを変更するように求められます。ここで、それを行い、このパスワードを今後のログインのために確実に覚えてください。
- Select Device の [Network Settings] を選択します。



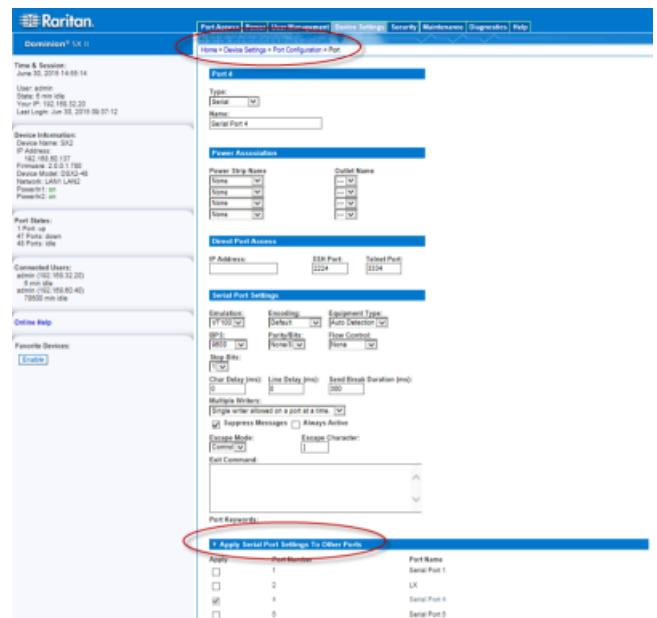
7. デバイスにそれを識別するための名称を与えます。最大 64 文字までが許されますが、特殊文字と空白はサポートされません。
8. ネットワークの基礎設定パネルで、IP 設定方法を選択します。デフォルトでは、SX II は無しにセットされていて、静的な IP アドレスを使用します。
9. SX II に IP アドレス、サブマスクと LAN 上のゲートウェイアドレスを与えます。
もし DHCP が選択されそしてクロスオーバーケーブルを用いて SX II を設定するのに使われるクライアントコンピュータが DHCP サーバを走らせていると、SX II は 192.168.0.192 でアクセスされません。その代わりに、DHCP サーバによって割り当てられる IP アドレス でアクセスされます。
10. 次に日付と時刻を設定します。デバイス設定 > [Date/Time] を選択し日付と時刻を設定します。



11. [Time Zone] のドロップダウン リストから適切なタイムゾーンを選択します。
12. 夏時間用の調整を行うには、[Adjust for daylight savings time] (夏時間用の調整) チェックボックスをオンにします。
13. 日付と時刻の設定に用いる方法を選択します。
 - [User Specified Time] - 日付と時刻を手動で入力する場合には、このオプションを使用します。[User Specified Time] オプションを選択した場合は、日付と時刻を入力します。時刻は、hh:mm の形式を使用します (24 時間制で入力します)。
 - [Synchronize with NTP Server] - 日付と時刻をネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバと同期するには、このオプションを選択します。
 - [Primary Time server] の IP アドレスを入力します。
 - [Secondary Time server] の IP アドレスも入力します。 < オプション >

注: ネットワークページのネットワーク設定で DHCP が選択されている場合、NTP サーバ IP アドレスは、デフォルトでは DHCP サーバから自動的に取得されます。NTP サーバ IP アドレスを手動で入力するには、DHCP を上書きする チェックボックスをオンにします。

14. [OK] をクリックします。
15. デバイス設定 > ポート設定 と選択し ここで、ターゲットとするデバイスが接続されている各コンソールポートを設定します。
16. [port name] をクリックしてそのポートの設定ページを開きます。
17. ポートの情報を入力します。[OK] をクリックして情報をポートに保存します。
18. 必要があれば、同じ設定をほかのポートに適用するには、そのページの [Apply Serial Port Settings To Other Ports] セクションを拡大します。
 - ターゲットデバイスが接続されているポートの次にあるチェックボックスをクリックします。
 - そのポートの設定を表示するには編集をクリックし情報を記入します。詳細については、ユーザ ガイドを参照してください。
19. 終了すると、[OK] をクリックし、そのほかのポートについてもこれを繰り返します。



次の手順

おめでとうございます！ SX II が設定され、使用できる状態になりました。ここに次のステップのヒントがあります。

- 追加のユーザプロフィールとグループを作成します。
- SX II の認証とセキュリティ能力を強化します。
- (もし有効であれば) Raritan Serial Console (RSC), ダイレクトポート アクセス あるいは コマンドラインインタフェース SSH または Telnet 経由でターゲットデバイスにリモートアクセスします。

追加情報

SX II についてのさらに多くの情報と Raritan の全製品ラインについては、Raritan のウェブサイト(www.raritan.com)を参照してください。技術的な問題については、Raritan 技術サポートにご連絡ください。世界中からの技術サポートの連絡情報については、Raritan のウェブサイトのサポートセクションでサポートへの連絡のページを参照してください。

Raritanの製品はGPL と LGPLでライセンスを受けたコードを用いています。オープンソースのコードのコピーを要求できます。詳細についてはRaritanのウェブサイトの次のところでOpen Source Software Statementを参照してください：
(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>)